

第4回

詰四会作品展

完全バージョン

担当 来島直也

たくぼん

【課題】四回

解答者総数 29名

全題正解者 8名

誤無 A B C 平均

野口賢治 10 7 8 4 0 2.67

伊達 悠 6 9 6 6 2 2.29

利波 偉 4 1 14 9 0 2.61

富永晴彦 2 13 9 4 1 2.57

(注) 本稿は、詰ハラに掲載され

たものを加筆し、全短評も掲載しました。折角書いて頂いた短評がそのまま死蔵してももったいないですので詰ハラ編集部のご了解を得て完全バージョンということで作

成しました。なおイージーミス誤

解者の評も実名で掲載させて頂いております誤了承下さい。

ご了承いただけない場合は御面

倒ですが連絡頂ければ削除いたしますのでよろしく願います。

詰ハラ出題：平成20年4月号

解答発表：平成20年7月号

…詰ハラ掲載のくるぼん筆

…今回加筆したたくぼんの筆。

「*」…短評者上の*印は誤解を意味しております。

【出題時の言葉】

森山直太郎のさくらのヒット以

降、桜を題材にした歌が非常に多くなつたような気がします。

これは、流行に循環性があり、人々の心に残るものは、たとえす

たれたとしてもまた評価されると

いうことなのか。それとも、散り行く桜にはかない未来を重ね合わせているだけなのでしょうか。

今回4月号に第4回詰四会作品展の課題4回とめでたく4並びとなりました。厄払いに皆様多数の解答お願いします。

今回は手数順です。

A B C 評価をお願いします。

今回は、四尽くしとなった

詰四会作品展 解説はペ・ヨンジ

ユンに依頼しようなどとお気楽な

ことを考えていたら、ある指摘を

見て顔色が真っ青になってしまいました。

(ばたり)

解答者数も全題正解者数も過

去最低となつてしまいました。ぎりぎりの投稿作で開催して

ますので如何ともし難い所です。が…

入選23回

札幌市 野口 健治

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					科	馬		科
						金	飛	玉
						桂	ス	
						香		
							歩	ス

持駒 飛銀香2

14 飛 同玉、16 香、同と、

24 金、同玉、27 香、イ26 飛台、

23 桂成、ロ同銀、26 香、14 玉、

15 飛、同と、24 飛、同銀

23 銀、同玉、33 香成、12 玉、

21 馬、同玉、24 香、31 玉、

32 銀 迄24手

イ25ロ26 金台はス飛以下早い。

ロ15 玉は35 飛、14 玉、24 成桂

同飛、15 銀以下早い。

作者1ポイントは大駒の4枚消し。

飛の直捨て4回なら理想でした
が。

最初には客寄せ級を持つてく
るのが定跡ですが、一番の難
問が来てしまいました。逆手
数順にしておけば易しいのを
先頭に持って来れたのにと氣
づいたのは4月号発行後では
後の祭り。

*中沢照夫ー7手目の27香が見
えず大苦戦。相性の悪い手順で
困った。

いきなり誤解者の評をもつて
くるとはくるぼんもお疲れ気
味？

神谷薫ー初形はかなり汚いが
作意は好手が続く。

大駒や香といった飛び道具が
乱れ舞をして、読みの力が試さ
れる作品です。10手目の変化を
作意より短く詰ますのに往生し
てしまいました。

岡崎行晃ー野口作で丸一日考えさ
せられた(感動作)

これがトップバッターとは申
し訳ない次第です。

谷口翔太ー解答で鍛えた鑑識眼。
並みの作品は創らない

利波偉 トップバッターとしては、
難解で解く気がそがれる作品。

手数順も良し悪しですね。作意
自体は粘り強い手順で面白かつ
たですけど

凡骨生 豪快な手順は大駒四回捨
てから感じる。

*宮本慎一 玉を下段に落とすん
や

安原嗣治 凝り固まった飛・金・
桂をほくすのが先決。8手目の

26飛合がうまい延命策
*和田 登 香の使い方が難しく
った。

実に読み難い順が続きます。

入選 8 回

岡山市 伊達 悠

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								皇
							皇	王
					飛			科
								ス

持駒 金香

同玉、32飛以下

ニ 54桂合は同角、31玉、22竜、

同玉、34桂、33玉、24金迄

ホ 42桂合は同馬、同玉、34桂

51玉、53竜以下

△ 34飛は24歩合、同角、14玉、

33角成、25玉、24飛打、16玉

以下逃れ。

次は伊達君の貧乏図式。いか

にも合駒のでそうな初形から合

駒が中合を含む4回でて詰みに

なります。

安原嗣治ー中盤、終盤の攻防に見

応えがある。初形18と配置は不

思議です。

無いと紛れが詰んでしまい

ます。

宮本慎一ー角竜コンビで7筋に追

いつめる歩合2回飛金合1回す

つ。

谷口翔太ー突然、歩の中合。ああ

驚いた！合駒で楽しめそんな処

以下
ハ 22飛合は43角、31玉、22竜

ロ 33玉は23飛引成、42玉、44飛

イ 24合は同飛、13玉、14金以下。

72竜 迄29手詰

62歩、同玉、63竜、71玉

43竜、51玉、52歩、61玉

53角成、ホ 42歩、同角成、同玉

65角、ニ 54歩合、同角、31玉

21飛、ロ 同玉、23飛成、ハ 22金

同飛、13玉、△ 14香、22玉、

35角、イ 34飛合、24金、同飛

でしょうね。

収束が流れてしまった感があるのと、合駒読みは他の作品が濃すぎて点数は伸びませんでした。

大学受験のため一時休養に入るのですが詰備会のためにも合格して早期復帰を望みます。

天津包子 桂合は22竜から34桂があった

利波 偉 これも難しかった。解いた後爽快な感じがしないんだ

よな

*中沢照夫 さりげない初形から飛車の中合。玉を下段に落とし
てからもう一回飛車合いがある。
凡骨生 合駒四回入りだが、歩中合にドッキリした。

和田 登 玉が71まで行くとは
全体的なバランスはイマイチ
という気がしますが、合駒4回
の心意気を買います。

入選26回

町田市 利波 偉

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王		王		王		王	飛	ス	一
	歩						角	桂	二
		桂		桂	角	桂	角		三
		卒		卒	卒	卒	卒		四
					歩			龍	五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

作者一四回桂を成る・四回銀を剥す・四回銀を打つ・四回香を取る・四回香を打つ趣向と、まあ

こじ付け気味ですが、前に「どこにも出せない普通詰将棋」で楽しい作品が好評だったので、パラでもどうなのか試したいと思いい出品します。(没だつたりして...))

61と41に成るのが桂でも良い非限定があります。

また、21・24・44の成り駒は生駒でも良いのですが、成り駒に揃えました。パラの標記の成銀・成香じゃなくて、全と否なら綺麗な字面なんですけどね...

実は本作も高校の時の作品で、春棋会用に作った作品を修正したものです。廃刊によって載せられなかった作品です。当時は軽趣向の作品を沢山作っていた

んですよね。今は全然作れない

ですが、当時の遺産を弄ることはできますね。

四回がたくさん出てくる軽趣向作品。特に解説するところもなく全真正解と置いていたらわぬところに落とし穴がありました。

天津包子一 32銀、同との変化で少し読まれたが易しい趣向詰でした。

この変化につまずいた人が数名。全真正解を逃した方もおられました。

非限定が嫌われるかと思つていたのですが、評価は予想以上に延びました。玉が1筋まで行って往復していれば逆転していかたかもしれません。

キムキム一 気楽な趣向作。佐藤司一最終手は93香が一番人氣、では一番人氣は？

- 81歩成 同成銀 同桂成 同玉
- 92銀、71玉、61角成 同成銀、同桂成 同玉、72銀、51玉、
- 41角成 同成銀 同桂成 同玉
- 52銀、31玉、21桂成 同と、
- 32銀、イ22玉、24竜、32玉、
- 33香、42玉、44竜、52玉、
- 53香、62玉、64竜、72玉、
- 73香、82玉、84竜、92玉、
- 93香迄37手詰
- イ同とは11竜、42玉、41竜
- 53玉、44竜以下

名越健将―これは誰でも解けます。

利波さんの戯局と思われる。

原雅彦―手順前後と歩が無くなれば完璧ですね

と金1枚、竜1枚、桂4枚、角

和登―楽しめました。

谷口翔太―お祭りだ。御輿を担いで、町内往復。ワッショイ、ワッショイ。

岡崎行晃 利波作は解き易く楽しめました

小林 理 浮橋のように詰め上がりで残る香。こんなの大好き

利波 偉 馬鹿馬鹿しい軽趣向です

すが、私は好きな世界なんですよ。

中沢照夫 折り返しで少考するも楽しい趣向作

凡骨生 4のオンパレードで楽しい作。

宮本慎一 成銀4枚 成香4枚

と金1枚、竜1枚、桂4枚、角

2枚等世にも奇妙な配置駒 成

駒多いなあ

安原嗣治 これは傑作。 91〜92

へ行くのに往復力二玉とは驚きです。

詰四会ではこのような作品をたくさん出題していきたいと思っています。出すところが無いとお嘆きのあなた！よろしくお

願います。

入選18回

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								飛
				飛			馬	
					角		王	

持駒 金香歩

58飛、37玉、34飛、35銀合、

同飛、同角、38銀、26玉、

29香、28歩、同香、27歩、

同香、17玉、18歩、同玉、

A 29銀、27玉、28銀、16玉、

17歩、同角成、同銀、同玉、

B 35角、26銀、18歩、27玉、

28金、16玉、17金、同銀成、

同歩、27玉、36銀、37玉、

38飛 迄37手詰

今回の問題作です。

和登―掴みづらい玉で難解だった。

凡骨生―合駒四回入りの巧い飛角図式だ！

早川清―詰上図が幾何学的な構造ですばらしい。ところで各手順は難解なものが多く攻防とも寸時のゆるがさない詰図である。

谷口翔太―純正の飛角図式で、

4度の合駒、巧妙な手が続きま

す。今回の作品展の特選品

神谷薫―銀合2回に連続歩合で手

が延びる延びる。詰方に好手はないが37手とはよくぞ粘ったものだと思う。

利波偉―途中まで解いて、真面目に解いても面白い手順のはずがないのが解り、以降は適当に解いていたので、正解手順かどうか自信が無いです。駒が余らないで詰んだから正解ですかね？

大道棋の大駒で追い回す手順と大して変わらない手順なので、解くのが苦痛でした。

飛角図式で連続合を含むネバリのある手が続きます。Aで37銀は飛角図式だからキズにしておいてください、と逃げよとしたのですが加登屋さんから恐ろしい指摘が・・・

B 53角、26銀合、18歩、27玉、28金、16玉、17金、同銀成、同角成、15玉、55飛以下手数長くなりますが詰んで

いるようです。

ついにやっつけてしまいました。

粗検おわびいたします。

原 雅彦 27手目の26同角の紛れに嵌って大変でした。

宮本慎一 銀台、歩合2回ずつ発生。最後は見栄え良く詰み

詰四会では柿木に頼り切った検討ですので、それを超える余詰には対応が難しい。お詫びも仕上げます。しかし作者本人がペンネームで指摘と言つのは拙かった。きちんと作者からの余詰報告という形にすべきで、不愉快に思われた方にはこの点もお詫び申し上げます。

総評&次回予告

谷口翔太ーベテラン対新進気鋭の対決、結果や如何に？軍配は野口、富永勢に揚がるでしょうかね。作品展はお祭り。仲良く楽しくこれが大切。第5回を楽しみに

待つてます。

努力します。

次回開催は詳細が決まり次第お知らせいたしますのでよろしくお願ひします。

【全題正解者】

神谷 薫 日下通博 関末凱康
谷口翔太 利波 偉 福村 努
凡骨生 増田智彬

【3題正解者】

高沢武夫 早川清一 宮本慎一
和田 登

【2題正解者】

天津包子 岡崎行晃 出崎 守
原 雅彦

【1題正解者】

市原 誠 キムキム 小林 理
佐藤 司 中沢照夫 長森優作
名越健将 無漏田彰 山田 立

【当選者】誌代1ヶ月文入帖

神谷 薫 谷口翔太